



## FIA F4 Test

DATE: 2019/02/17~20

Location: Fuji International Speedway

## 1日目

---

1日目は、初めての富士スピードウェイであり、FIA F4 の車両の理解度もまだまだ足りない中、自分の走りを少しずつ少しずつ詰めていこうと思い徐々にアタックすることにしました。

1本目の走行では前回の走行から交換した部品のチェックを行い、しっかりマシンが走るのか、油温水温などを確認しながらウォームアップを行いました。

そして1コーナーのブレーキングの練習をメインに1本目、2本目は走行しました。

全長1キロを超えるロングストレートがある富士スピードウェイではストレートを走り切るとブレーキもタイヤも冷め切ってしまっており、その状態で如何に踏力を最大限に上げてマシンをコントロールするのか、ブレーキバランスを見極めるのか、とても大事なことであるなと思いました。

2本目と3本目ではブレーキングがある程度のレベルまで行けましたので、次のステップとして最終セクターの複合コーナーを練習することにターゲットを絞りました。

しかし、自分が想像していたよりもその最終セクターが難しく、1つのコーナーを綺麗に抜けることは出来るのですが、それを全てバランスよくまとめるのが物凄く難しく  
まだまだ練習が必要だと痛感しました。

## 2日目

---

2日目は初めてのFIA F4 ウェットコンディション、初めての富士スピードウェイのウェットと初めて尽くしの1日でした。

まずは色々な方々から雨の富士の走り方や危険箇所などアドバイスを伺いにガレージを巡りました。そしてその頂いたアドバイスを基に1本目は黙々とウェットコンディションでのマシンコントロールとサーキットの理解度を高める為に黙々と走り込みをしました。

ウェットコンディションで気温も低く、コンディションのあまり良くないタイヤでマシンが暴れるのを抑えるのに苦戦しラップタイムも中々安定しませんでしたが、なんとか FIA F4 に3年間出ているドライバーとほぼ同じタイムを出すことが出来ました。

2本目と3本目はまだ水溜りも残っている状態でのドライ用タイヤでのアタック、姿勢を崩さないように走るのにこれも苦戦しましたが、最終的には初日にあったタイム差からだいぶ縮めることができました。

## まとめ

今回の FIA F4 テスト in 富士スピードウェイでは、開幕までに走ったことのないサーキットが多いのでまずはコースに慣れるという目的でテスト走行を行いました。しっかりと自分の課題点をデータと比較しながら、そしてコース外からエンジニアに目視して頂きながら、自分の走りと車とのフィーリングを確認しながら、徐々に徐々に無理のない範囲で着実に一歩一歩詰めて行きました。

最初は中々自分の走りが出来ず、いい状態での走りのイメージも全く湧きませんでしたが最終的にはまだまだあやふやな状態ではありますが掴めたような気がしました。

次回はそのあやふやなイメージをよりはっきりとした物にし、自分の走りとして定着させ、いいときのイメージ通りなスムーズな走りで安定したラップタイムを刻めるようにテスト走行を行いたいと思います。

そして今回、刻々と変わるコンディションの中、自分と車との対話をしっかりと行い着々とラップタイムを刻めるテスト走行を行うことが出来たのは今後に大いに繋がると思いました。

これからも応援よろしくお願いします。

木村偉織